

令和5年度 第12回 江南区自治協議会

日時：令和6年3月28日（木）午後2時30分～

会場：江南区役所 3階 302会議室

1. 開会

○渡邊地域総務課長補佐

本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。定刻になりましたので令和5年度6回江南区自治協議会を開催させていただきます。

当会議につきましては公開することとし、記録作成のため録音及び撮影をさせていただきますのでご承知おきください。

資料の確認をお願いします。

(資料確認)

○渡邊地域総務課長補佐

本日の会議について、齋藤委員、今井委員から欠席のご報告をいただいております。

2. 会長あいさつ

○渡邊地域総務課長補佐

それでは、開会に伴いまして、はじめに、中野会長からご挨拶お願いいたします。

(会長あいさつ)

○渡邊地域総務課長補佐

次に議題に入りますが、ここからの進行は中野会長にお願いいたします。

3. 議題

(1) 令和6年度江南区主な取り組みについて

○中野会長

それでは、次第に沿って進めてまいります。いつもながら、ご意見のある方は挙手のうえ簡潔明瞭にお願いいたします。

でははじめに、3の議題から進めます。(1)「令和6年度江南区主な取り組みについて」、区長より説明をお願いいたします。

○坂井区長

皆さん、本日もお忙しい中、どうもありがとうございます。今ほど会長からもご紹介がありましたけれども、3月20日、皆さん、寒い中ご協力いただき、本当にありがとうございました。そしてまた今日、中野会長、素晴らしいお着物でお越しいただきまして、やはり節目をきちんと祝う、祝うというか、迎えるということが大切なことなのだなと感じております。

私から、来年度の主な取り組みについてお話しさせていただくのですが、皆様から、昨年からご意見をいただきながら編成してまいりました区づくりを中心にご意見をいただいているわけなのですけれども、新年度予算が一昨日の市議会の本会議で可決されましたので、改めての部分があるかと思いますが、説明をさせていただきます。

では、お手元の資料1、A3横のカラーのものをご覧いただきながらお聞きいただければと思います。こちらの資料は、区ビジョンに、区の将来像は「緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち」としておりますけれども、そこに五つの区の姿を設けておりまして、五つの柱と呼ばせていただきますけれども、こちらの資料は、来年度取り組みます江南区の主な事業、16事業をその柱ごとに整理したものとなっております。資料1と書いてある左側の四角囲みのところですが、こちらが予算メニューごとの合計金額となっております。特色ある区づくり予算は昨年度と同じ2,900万円です。この資料では、各事業名の左側に色をつけて表示しておりまして、赤色が特色ある区づくり事業の9事業となっております。次の緑色の区長提案・主要事業4,500万円は、令和5年度から区の権限強化を目的に新設されたものでございまして、区の特性や強みを活かし特に力を入れて取り組む事業となっております。次の青色のその他事業900万円は、福祉や防災といった、本来全庁的な視点をもって取り組むべき事業で、区づくりから別の予算枠に移ったものになります。継続する事業が3事業と、新規事業が1事業、計4事業となっております。なお、移行された予算枠は、そのまま区づくりに金額としては残っておりますので、そちらは実質的には区の財源強化につながっているとご理解いただければと思います。

それでは、柱ごとにご説明させていただきます。まずはじめに、1の「自

然環境と都市機能を活かした快適に暮らせるまち」に向けた事業です。一つ目の「みんなで語り、考える使いやすい公共交通」です。コロナ禍でバスの利用者が減少しておりまして、若干回復傾向にはあるのですが、まだコロナ前の水準に戻っていないことから、引き続き小学生の利用促進に向けたバス乗車体験学習会や交通空白地帯における高齢者の買い物支援を継続するとともに、新たに区バス利用者の目的や年代といった、より詳細な属性調査を行いまして、ニーズ把握に努め、今後の利用促進への活用を図ってまいります。

次の「ビバ.リバー！憩い空間活用事業」は、既存の2事業をリニューアルいたしまして、新たな事業として実施するものです。三方を川に囲まれた豊かな水辺空間の魅力を体験できる機会を創出しまして、区の魅力発信につなげてまいります。整備されたサイクリングロードを活用し、区の名所を自転車で周遊しながら地元の食を楽しむイベント「いい汗 いい食 江南健幸ライド」や親子で楽しむ「こあがの川フィッシング大会」を開催するとともに、自転車走行環境の改善を図りまして、憩い空間づくりを進めます。

次の「江南区公園魅力アップ事業」は、こちらは新規の区長提案事業となっております。江南区内には、子育て世代に人気のある公園が複数ございますけれども、地域の方から近年の猛暑による熱中症対策としての日陰空間、日陰施設の設置など、さまざまな要望が寄せられていることから、二つの公園の魅力アップを図ります。一つ目のよこごし公園は、約5万平方メートルのビッグスワンがすっぽり入るような大きな敷地に対しまして、現状では日陰施設が二つしかございませんので、植樹ですとかシェルターの設置によりまして日陰空間を創出するとともに、キッチンカースペースを確保いたします。また、北山池公園は、園路の舗装や繁茂したハスの刈り取りによる環境整備を実施いたします。安心安全に利用いただける公園に整備することで、利便性の向上とともに地域の活性化にもつなげてまいります。

次の2番「人と人とのつながりを大切にする安心安全なまち」に向けた事業です。一つ目の「8区防災アクション2024」です。こちらは、能登半島地震の発生を受けまして、各区で防災対策事業を強化するものです。この度の地震発生時における各地域での対応を振り返るとともに、今回の経験を今後活かしていくための活動を促進し、地域防災力の向上を図ってまいります。

次に、「江南区安心・安全な地域づくりの推進」です。引き続き円滑な避難所運営や防災訓練への支援や研修会を実施するとともに、将来の地域防災

の担い手となる中学生を対象にジュニアレスキュー隊育成講習会を開催するなど、安心安全な地域づくりを推進してまいります。

次に、「江南区商・農・福連携推進事業」は、こちらは去年の区長提案の事業です。2年目となります。失礼しました。今年度の区長提案事業になっております。亀田駅の東口エリアには、県のふれ愛プラザや特別支援学校、福祉施設などが集積していることを区の特徴、強みと捉えまして、今年度構築いたしました福祉事業所と商業者、農業者をつなぐマッチングの仕組みを運用するとともに、魅力ある授産品の開発に取り組み、障がい者の就業支援並びに工賃アップと商業者、農業者の労働力不足を解消を目指してまいります。

次に、「江南区ふれあい・ささえあいプランの推進」です。区民や各種団体と協働で「こうなんふれ愛まつり」や「障がい者アート展」を開催するとともに、区民の皆様が地域福祉について考える機会として「江南区民福祉大会」を開催し、「みんなでささえあい安心して暮らせるまち江南区」の実現を目指してまいります。

次に、「地域で見守り・地域で子育て応援事業」です。江南区見守り隊メールの配信や見守りシールの交付、また、子育て交流会の開催などにより、地域の方で認知症高齢者を支援したい人や子育てを応援したい人などを掘り起こしまして、地域全体で見守り、安心して暮らせる地域づくりを推進してまいります。

次に、3番の「産業と地域の魅力が輝くまち」に向けた事業です。まず一つ目の「江南区まるごとプロモーション」は、江南区の魅力である農産物や観光資源などを一体的にプロモーションするとともに、その推進体制の充実に向けて農商工連携や官民連携を加速させる取組みを進めてまいります。

次に、「地域ブランド亀田縞を活かしたまちづくり」です。引き続き認知度の向上や地域アイデンティティの醸成に取り組むとともに、ほかの産業や地域との連携を深めることにより地域ブランド亀田縞を活かしたまちづくりを進めてまいります。

次に、「亀田縞×にいがた2km事業」です。こちら、区長提案の新規事業になります。現在、亀田縞の利用促進に取り組んでおりますが、主な顧客が中高年層で若年層の顧客拡大に余地があると考えております。また、亀田縞の生地で作った製品を証明する仕組みが現在は限定的でございますので、

来年度は、生産者の皆様が加入する亀田縞利用促進協議会とともに、にいがた 2km の企業と連携し、若者向けのセカンドラインの立ち上げやブランディングに取り組み、新たな顧客獲得による販路拡大やさらなる認知度向上に取り組んでまいります。

次に、「地域商業活性化支援」です。区内の商業関係者で構成する江南区魅力彩発見実行委員会とともに、区全体の商業活性化につながる取組みを実施いたします。また、亀田三・九の市で実施してきたマルシェにつきまして、ほかの地域での開催についても検討してまいります。

次に、「『江南区をPR』魅力発信プロジェクト」です。区内の商工団体などで構成する江南区魅力発信プロジェクト実行委員会とともに、区内事業者からご提供いただいた物資を江南区出身の学生に送付する「ふるさと江南区宅配便」の実施や、学生のUターン就職の促進を目的としたイベントなどを開催いたします。

次に 4 番目、「人が輝き文化が育まれ健やかに過ごせるまち」に向けた事業です。「文化芸術の創造・発信」につきましては、区の文化芸術の発信拠点であります江南区文化会館において、区民に多様な文化芸術に触れる機会を提供いたします。

次の「江南区歴史・文化の学習支援」も新規事業となっております。区内の小学校と連携し、北方文化博物館などの歴史文化施設の見学授業を希望する学校に対しまして、講師や交通手段の確保などの学習支援を行うことで、次世代を担う子どもたちに郷土の歴史・文化を学ぶ機会を提供し、ふるさとへの愛着や誇りを醸成します。

最後に 5 番、「区民が主役となる協働のまち」に向けた事業です。「区自治協議会提案事業」は、まちづくり、環境・教育、安心安全の視点で区自治協議会が取り組むことが効果的な事業につきまして、区と連携して実施するとともに、地域の課題解決やコミュニティの維持・向上につながる地域主体の取組みについて支援をしてまいります。

以上、走り走りではございましたが、私から説明を終わります。よろしくお願いたします。

○中野会長

ありがとうございました。では、このことについて、ご質問等はございませんでしょうか。

○天野委員

亀田西小学校区コミュニティ協議会の天野です。

大きな 1 番の緑の丸の「江南区公園魅力アップ事業」、公園を二つ申されたのですが、よこごし公園と、もう一つ聞き逃したのですが、どこですか。

○坂井区長

北山池公園です。

○天野委員

北山池公園ですか。ありがとうございます。

○中野会長

ほかにご質問等、ご意見等はありませんか。

○田口委員

「江南区公園魅力アップ事業」の、公園はほかにもたくさんあると思うのですが、この二つを選ばれた理由だったり、何か変更した過程というのはあるのでしょうか。

○坂井区長

ありがとうございます。地域の方からの要望が長年あったということで、特によこごし公園は日影が全然なくて、皆さん、テントを持って行って張って凌いでいらっしゃるような状況がありましたし、横越コミュニティ協議会からのお話をいただいておりますので、今、熱中症は危ないですから、危険度があるということで一番最初に挙げさせてもらいました。北山池公園も、今、ハスが、3 分の 2 くらいまでハスが繁茂してしましまして、それは今の区の予算では刈り取ることができないような金額だったものですから、それをやりたいと思っておりますし、園路が、障がい者のトイレがあるのですけれども、そこまで園路がつながっていなかったりとか、園路ががたがたになっていて、舗装してある部分はあるのですけれども、がたがたになっていて周遊できないような状況になっておりますので、それは安心安全の観点から北山池公園も選んだということです。ほかにもやりたいところはたくさんあったのですけれども、安心安全とか、緊急度を優先して考えた結果でございます。

○田口委員

ありがとうございます。

○中野会長

田村さん、お願いします。

○田村委員

商工会議所の田村です。

「地域商業活性化支援」、300 万円、去年より 50 万円の増額、どうもありがとうございました。

それから、その一つ上の「亀田縞×にいがた 2km 事業」なのですけれども、先ほど区長が説明されたとおり、主に中高年、ごわごわの生地がほとんどなので、カラー的にもそうなのかなと思ったのですけれども、一昨年、櫻井よしこさんをうちの商工会議所 70 周年記念で呼んだときに、お土産としてガーゼみたいなマフラーをお渡ししたのですけれども、その若者向けのセカンドラインというのは、そういう感じのものを想定されているのか、それとも本当に若い人向けに何かデザインのようなものを想定されているのでしょうか。そのセカンドラインというところを、分かれば教えてください。

○塚本産業振興課長

産業振興課長の塚本です。

今想定しているのは、若者が好むポップで可愛いパステル調の、今までなかったようなストライプを作って、それを若者が欲しがるような商品に変えていこうということで、従来の亀田縞とは一線を画した若者向けのストライプを想定した企画です。田村さんがおっしゃったようなガーゼみたいなものというのは、多分ちぢみのことをおっしゃっていると思うのですけれども、それはそれで我々もやっていきますけれども、今までの販路にあまり乗っていないようなデザインのストライプの亀田縞の商品をこれから作って、なおかつその動画とか、プロモーションをするという企画です。

○田村委員

ありがとうございました。

○坂井区長

補足させていただきますと、実は今年度、新潟大学の創生学部の学生に亀田縞をどうしたら若い方たちに興味をもってもらえるのかという、授業の一環として取り組んでいただいたのです。その結果、新大の学生たちがアンケートを学生に取ってくださいますと、やはり色とか柄、明るい色、パステルカラーが好まれるという結果が出ました。あと、ご自身たちで考えてくれたのが、トートバッグです。トートバッグだったら 1 万円、亀田縞だったら 1

万円出してもいいというようなご意見もいただいたりして、それが一つのヒントになっておりまして、そのとおりになるかどうかは、これから企業とのご相談になってくると思うのですけれども、そういう企画もございました。

○中野会長

ありがとうございます。ほかにご意見等はございませんか。

○石井委員

亀田東小学校区コミュニティ協議会の石井です。

「地域商業活性化支援」というところで、マルシェの開催なのですけれども、今年度もマルシェを開催しましたが、その開催したときの様子なり、効果なり、教えていただければと思います。

○塚本産業振興課長

産業振興課の塚本です。

亀田三・九の市の始まった日に合わせて三・九マルシェを開催いたしました。比較という形でご紹介させていただきますけれども、直近の休日に三・九の市を歩いていた人が約 550 名程度。当日、三・九マルシェの日に歩いていた方、当然行ったり来たりもしますので多少重複はするのでしょうかけれども、2,600、2,700、十何倍の数のお客様がいらっしゃいました。傾向といたしましては、子どもさんを連れた若いご家庭とか、普段この道を歩くとは到底思えないような若者が歩いていたということで、一定の成果があったのかなと思っています。なお、アンケートを取った結果、やはり出店者についても、思った以上に売れて驚いたというようなご意見をちょうだいいたしました。

○石井委員

ありがとうございました。

○小野直樹委員

今ほどの「地域商業活性化支援」で関連した質問なのですが、4月から、酒屋町商工会でなくなって新潟こうなん商工会両川支所という形に決まったのですけれども、もともとやっていた「ゆめ祭り酒屋」というものを今年復活しまして、今までは商工会の青年部、地元の人が出していたのですけれども、今回、マルシェですとか、そういうものも外部のところも活用していこうとこの前の会議で方向づけが決まったのですけれども、こういうメニュー

に関しましても、例えばこういう支援のメニューを使うこと、利用することというのは可能なのでしょうか。お願いします。

○塚本産業振興課長

塚本です。

やはりこういう企画をやるにしても、私ども役所が新たな企画を立ち上げることは非常に困難なところでございます。そういう意味で、酒屋のゆめ祭りとか、あと曾野木のお祭りとかございますので、そういうところにこちらから働きかけを逆にさせていただいて、一緒に地域商業の活性化をやりませんかというように今考えております。酒屋のゆめ祭りにつきましては、逆にお断りされると困るのですが、ぜひ一緒にさせていただきたいと考えております。

○小野直樹委員

ありがとうございます。

○中野会長

では、岡野さん。

○岡野委員

公募委員の岡野です。

「文化芸術の創造・発信」のところなのですけれども、江南区文化会館、私が気づいていないだけなのかもしれませんが、文化会館のメインの音楽をやったりするところがありますよね。あれは何と云うのでしょうか。そこがあまり活用されていないのかなと思っていたのですけれども、北区とか秋葉区などは、割と、これがいいのか悪いのかしりませんが、割と有名な歌手とか、芸能人とか、そういう方たちのコンサートなりを企画して、けっこう人を呼んで、これもまた、例えばそういうところに人を集めて、当地の、区のコマーシャルではないのですけれども、人を呼び込む一つの手段かなと思うのですが、江南区の文化会館は地元のそういう芸能とか文化の催し物を中心に今やっているのか、言葉は悪いかもしれませんが、私は低調なような気がするのですが、この多様な文化芸術に触れる機会を提供ということなのですが、令和6年度の方針としてはどういうことをお考えになっているのか、少しお聞かせいただければと思います。私の誤解というか、偏見があるかもしれませんが、そうでしたら、それは訂正していただければと思うのですが。

○小野直樹委員

江南区の区づくり事業に関する芸術文化会館の選定にかかわる委員長をさせていただいているのが私でございますので、適任かなと。これで3年連続でやっておりまして、4年連続で選考にかかわらせてもらっていますので、館長よりも長く関連していますのでお答えさせていただきます。

多様なご意見をこの自治協議会でも過去にいただいております、2年前には逆に有名人を呼ぶのではなく、地元の方に根差した人を基本線に呼んでくれないかというご要望もありました。プロポーザルという選考方式というのは、委員が5人いまして、各項目で採点をしていって、一番多い人に第一指名権を与えるというような、割と自分の恣意的なものが入りづらいのです。こういうものを呼びたいとか、本当はM I S I Aとかを呼びたいのですけれども、そういう要望は通りづらいです。さまざまな選考の、会社が安定しているかとか、集客に問題がないかとか、そして区の予算を使ってやるに値するには適正なのかということであるとか、たくさんの項目から点数を決めていって。坂本さん、5人かな、4人かな。そして選考していって、今回はたまたまですけれども、新潟県に縁のある方。5人ですね。5人の委員で決めているのですけれども、今回はたまたまですけれども、浪曲の方とクラシックの方で、新潟に縁のある方が一番高い点数を得て選ばれていました。もちろん誰でも知っているさかなクンであるとか、割と有名な方も実は中にはあったのですが、これは決まったことなのでお話しできるのですが、守秘義務がありまして、決まったことに対して話せないということがあって、終わったことなのでお話しできるのですけれども、これは民間で館長さんが勝手に使うことはできなくて、この区づくり予算を使う関係での事業はそういう形で選考されていて、去年はたまたまそういう形になっておりまして、その前は、声優さんが来たりとか、有名な方が来られたりとか、コロナでございまして、コロナ禍でございましたので、本当は江南文化会館の音響は非常にいいので、音楽のコンサートをしたいという気持ちももっておりますので、今いただいた意見を踏まえて、私が来年プロポーザルの委員長になるかどうか、また委員になるかどうか分からないのですが、この中にも選考委員の方がいらっしゃると思いますので、そういう意見を踏まえて、今後プロポーザルの形が続くのであれば、選考していきたいと思っております。こういう答えでよろしかったでしょうか。

○岡野委員

ありがとうございます。プロポーザルとか、いろいろな人の意見を集約すると、最大公約数になってあまり面白くない無難な案がけっこう出るので、その辺りは、そういう制約もありつつ、新しいものにチャレンジしていただければと思います。ありがとうございます。

○小野直樹委員

ありがとうございます。

○塚本産業振興課長

すみません。補足させてください。決して聞いていなかったわけではなく、お答えすることを確認しております。実は、江南区文化会館のキャパ、席が400席ございます。通常の興行となると、やはり400席では非常に著名な方が来るには難しい数の場所でもございます。先ほどおっしゃられた北区とか秋葉区はいろいろなことをやっているのではないかと。おっしゃるとおりで、あそこは指定管理者と言いました、私ども職員ではなく、業者をお願いして運営していただいて、その運営をしていただく費用の中に、あなた方はこの金額の中でいろいろなイベントをやってくださいというお金が含まれております。残念ながら、私ども江南区文化会館は、亀田地区公民館とか、資料館とか、図書館が合築された施設でございますので、直接職員が運営しているということで、いわゆる自主事業の予算がまったくない状態です。それが故に、開館当初から区づくり事業で特別に予算をいただいて、何とか誰でも知っている方をお呼びできないかということでこれまで続けてまいりました。現在、文化会館の音楽演劇ホールは、概ね67から68パーセントの利用率となっておりますので、使われてはいるのですけれども、その使われ方が、例えば市の会議とか、県の催しとか、場所柄がいいものですから、そういう行政関係で使われたり、あと、ピアノの発表会とか、そういうことに使われております。確かにおっしゃる部分も、実は感じる部分もございますので、誰が聞いてもその人が来るの？というような、その企画が来年度、恐らくお願いする予定の小野委員長から選定いただいて、ぜひ皆さんからもおいでいただけるような企画を進めていきたいと考えておりますので、長い目で皆さんご協力といいますか、ご理解賜りたいと思います。よろしく申し上げます。

○中野会長

ありがとうございました。私も委員をやったことがありますけれども、やはりなかなか400席というのは少ないので、有名な方を呼ぶには失礼な気も

するかなというのもありますけれども、林修さんとか、やはり興味をもてるような方もいらっしゃるのではいるのですけれども、告知が難しいのと、あまり告知し過ぎて集まり過ぎて、今度は選考がどこを基準に400人にするのかというところも難しいところもあるので、その辺り、岡野さん、いいご意見があれば教えていただければと思います。よろしく願いいたします。

ほかのご意見はございませんでしょうか。茂木さん、お願いします。

○茂木委員

江南区支え合いのしくみづくりの茂木です。

すみません。私、一つメモが追いつかなかったりして、多分書きそびれてしまったのかなと思うのですけれども、4番の、同じ「文化芸術の創造・発信」のところの地域に対するアウトリーチの実施とありますが、これは具体的にどのようなものでしょうか。

○塚本産業振興課長

今年度、ピアノの、失礼しました。バイオリンの奥村愛さんがコンサートにいらっしゃいました。そのアウトリーチといたしまして、県のふれあいプラザを会場に、江南区特別支援学校、それからふれあいプラザをご利用いただいている障がいの方とか、そういう方をお呼びして、593人のお客様を招いて、アウトリーチという形で出前コンサートをやったと。そういうものを来年度も、文化会館の公演だけではなく、外に出ていろいろな人から聞いてもらおう、見てもらおうというような企画の趣旨でございます。

○茂木委員

ありがとうございます。

○中野会長

ありがとうございます。ほかの皆さんから、ご意見はありませんか。よろしいでしょうか。では、来年度は、亀田縞を来て出席させていただきたいと思いますが、ご意見はよろしいでしょうか。

○田口委員

先ほどお聞きした「江南区公園魅力アップ事業」についてなのですが、先ほど植樹などいろいろ検討されて、緊急性の高いものからというお話だったと思うのですが、私も利用者として利用していて、日陰があるとすごく助かるなと思った経験もあるので、ほかの公園とかでは、日陰はあるけれども、今度見晴らしが悪くなってしまって、子どもを複数人連れ

て行ったときの見守りが難しいと感じるところがあったり、あとはこの歩道空間の整備などもありましたが、身障者用のトイレまで辿り着けるような歩道空間を整備するというだけではなくて、そこを利用する高齢の方とか身障者の方とか、あとは乳幼児が利用する部分で、利用しやすいところまで整備を考えていただけると助かりますし、今年度についてはこれ以上のことは難しいと思うのですけれども、ほかの公園についてもトイレのことを考えるとなかなか子どもを連れて行くのがためらってしまうということが子育て交流会のときにも話題が出ていたり、意見の一つとして子ども用の便座の設置をお願いしたいということがあって、実際に採用していただいた公園もあるのですが、すべての公園に整っているわけではないので、来年度以降にもぜひ考慮していただけるとありがたいです。

○坂井区長

ありがとうございます。今回、本当にまじまじと要望を見たのですけれども、足りているところと足りていないところが良く分かりましたし、おっしゃるとおり、車いすだけではなくてベビーカーのお母さんやお父さんもいらっしゃるのです、そういうところのご意見というか、そういう方にも配慮した形でやっていきたいと思えます。ありがとうございます。

○中野会長

ありがとうございます。ほかによろしいでしょうか。

(2) 大江山地域実行計画について

○中野会長

なければ、次に(2)の「大江山地域実行計画について」、地域総務課より説明をお願いいたします。

○松屋地域総務課長

地域総務課の松屋です。よろしく願いいたします。

それでは、資料2をご覧ください。本市では、今後見込まれる人口減少や増大する老朽化した公共施設へ対応し、効率的な公共施設の利用と継続的なサービスの維持を実現するため、地域の身近な公共施設の今後のあり方を概ね中学校区を単位として「地域別実行計画」を策定し、総量の削減とサービス機能の維持を目指すこととしております。この度、大江山地域別実行計画の策定に向け取り組みを進めてきましたので、その説明をいたします。

大江山地域の「公共施設のあり方について、検討を重ねてきました」をご

覧ください。大江山地域の中心施設である大江山農村環境改善センターが大規模改修などの目安としております築 40 年を越えたことをきっかけにしまして、コミュニティ協議会、自治会、地域教育コーディネーター、施設利用者、公募参加者などからご出席をいただきまして、大江山地域の公共施設のあり方についてワークショップを行いました。また、ワークショップ後に広報紙を作成しまして、幅広く意見をお知らせするほか、老人憩の家の利用者からの意見聴取やパネル展示型説明会を開催し、ワークショップの参加者以外の方からも意見を募集する機会を設けてきました。

ページをおめくりください。計画の概要についてです。コンセプトとしましては、現在の農村環境改善センター、通称農改センターですが、これを最大限活用しまして、多世代交流を図るというコンセプトとしております。農改センターには、親子や高齢者の居場所機能や学習スペースなど、新たな機能を整備いたしまして、現在の施設規模は維持したまま大規模改修を実施することとしております。ここにあります大江山地区の図書室は、予約した本を受け取る機能を連絡所に移転するとともに、農改センターの整備に合わせて図書室は廃止することとしております。老人憩の家は、貸室機能や地域の方の居場所機能といったコミュニティ機能につきましては、農改センターに移転するとともに、老人憩の家にありますお風呂の機能については、補修が困難となった時点で廃止をするということとしております。そのほか、四つの地域にあります集会所に関しましては、現在の利用状況に合わせたあり方の見直しをしまして、その後の使い方を各自治会と協議することとしております。

再編のスケジュールにつきましては、右側にありますが、記載のとおりとなっております。

めくっていただいて、一番最後の今後の進め方をご覧ください。1月27日にワークショップ参加者だけでなく、参加していない地域の方も出席できる報告会を開催しました。そこで意見交換を行いまして、さらにこの3月7日まで意見募集を行いまして、これに関しては2名の方からご意見をいただいたところです。今後、これまでいただいたご意見を踏まえまして、市として大江山地域実行計画を策定することとなります。策定した計画に基づいて、具体的な施設の修繕、廃止など、これからありますが、その際にはまたこちらの協議会に報告や、施設の廃止ということでありましたら意見聴取という

ことをさせていただくこととしております。

私からは、以上です。

○中野会長

ありがとうございました。このことについて、ご質問等はございますでしょうか。伊藤さん、お願いします。

○伊藤委員

3号委員の伊藤でございます。

大江山地区の公共建築を考えると、非常に素晴らしい取り組みだなと。この報告書を見ても、非常に流れもよく分かりますし、素晴らしい取り組みなのだなと感じました。大江山に限らず、公共建築物が老朽化であるとか、地域の人口減少であるとか、そういうところの事例がたくさんあるのではないかなと感じるのですけれども、こういう取り組み、ほかの区であるとか、ほかの地域であるとか、現実的に取り組んでいるところがあるのでしょうか。というのは、素晴らしい取り組みをやられているので、これをモデルとしていろいろなところでも進められるのではないかと感じたものですから、現在、ほかの地域でもやっていますというものがあれば、なるほどと感じますが、その辺、もし分かるようでしたら教えてください。

○松屋地域総務課長

ありがとうございます。まず、江南区におきましては、大江山に先立ちまして、曾野木ですでに地域実行計画が実行されまして、それに基づいて曾野木コミュニティセンターが出来上がったり、新しい民間の保育園がみにゅにていセンターの隣に出来上がったり、その拠点に曾野木のコミュニティ協議会でいろいろな活動が展開されているという形になっています。

江南区では、この大江山地域が2番目ということで、他の区におきましては、新潟市の中で一番最初に出来上がったのが、西蒲区の潟東地域が取り組みを行いまして、潟東につきましては、小学校の統廃合ということで3校が1校となる大規模な統廃合がありまして、それに関して地域の公共施設をどうしようということで、小学校が二つ廃校になって、その体育館を地域のコミュニティセンターというような取り組みが行われまして、その他、北区の葛塚の取り組みが終わりまして、それに基づいて新しい区役所ができて、古い区役所のところに葛塚のコミュニティ協議会の活動拠点となるコミュニティセンターが旧区役所の建物を利用した形で出来上がったり、そのほか、現在進行

形で行われているのが、隣の東区の石山地区の取組みが行われまして、あそこは、石山駅の周辺整備がきっかけになって、取組みをやってみようかということで始まって、今、ワークショップが始まったところですが、その辺、石山は区域が広くて、施設もいくつかあって、なかなかこれから大変なのかなという状況ですが、委員がおっしゃるように、やはり今後のことを考えますと、どうしてもこういう取組をやっていかないと地域が立ち行かなくなるというか、行政も立ち行かなくなり、皆さんの生活も立ち行かなくなるということも予想されますので、それから、その地域ごとに過去の経緯などもありますので、いろいろな情報を集約しながら、その地域にとってどういう施設の統廃合なり、できれば新設などもあったらいいのかなと思いますけれども、そういうことが行われていくのがいいのかなと考えております。

○伊藤委員

ありがとうございました。本当にこういう建築物のあり方に関して、行政だけの判断で統廃合というよりも、市民がここにかかわりながらどうしていくべきかと皆で相談していくというのが非常にいいことなのではないかなと思って、素晴らしいことだと思いました。来月ありますが、自治協議会の全体委員会というのでしょうか、全体協議会というのですか、そういう自治協議会の全体の会議があるかと思っておりますけれども、そういうところで江南区ではこういうことをやりました、また他区ではこういうことがありましたという、そういう報告などがあると、自治協議会の委員もこういう形でそこを進めたのだとか、では我々のところもこういう形で進めたらどうかとか、そのようなイメージをしやすくなるので、ぜひ自治協議会の全体会議のときにでも報告し合うということをしていただければと思っております。ありがとうございました。

○松屋地域総務課長

ありがとうございます。全体研修は今のところは防災関係ということで計画されておりますが、今ほどのご意見を参考にさせていただいて、市民協働課とも協議をしていきたいと思っておりますし、大元の財産活用課というところが大元のその所管をもっていますので、そちらとも地域でこういうことを見ていますので……ということを伝えていきたいと思っております。ありがとうございます。

○中野会長

ありがとうございました。ほかに。石澤さん、お願いします。

○石澤委員

早通小学校区コミュニティ協議会の石澤です。

そもそも農業環境改善センターの土地と建物は、市の所有だったでしょうか。それとも、亀田土地改良でしょうか。そういうところでしょうか。その財産の所在といいますか、その辺はどうなっていますでしょうか。

○松屋地域総務課長

大元は市の施設ということで、ただ費用負担に関しては、少し不明な部分がある。費用負担については分からないのですけれども、もしかすると土地改良区でも一部負担をしているかどうか分からないですが、市の施設です。

○石澤委員

ありがとうございました。

○中野会長

ありがとうございました。あとはよろしいでしょうか。田村委員、お願いします。

○田村委員

うちの会議所も古いものですから、大規模改修工事をする、どのくらい寿命が延びるのですか。すみません。

○松屋地域総務課長

市の建築部の話ですと、大規模改修をやって 80 年使うという形になっておりますので、もう 40 年と聞いております。

○田村委員

ありがとうございました。

○中野会長

ほかにございませぬか。渡邊さん、ありますか。

○渡邊委員

いえ。

(3) 令和 5 年度区自治協議会提案事業の事業評価について

○中野会長

なければ次に進めたいと思いますが、(3)「令和 5 年度自治協議会提案事業の事業評価について」、各部会より説明をお願いいたします。

まず、まちづくり部会の田村部会長、お願いします。資料 3 ですね。

○田村委員

事業評価書ということで、令和 5 年度は両川地区の魅力を発信するという
ことで、マップを作成させていただいたということでございます。今日、お
手元に配られましたけれども、作っている最中はこの半分くらいの大きさだ
ったので、少し字が小さいかなとか、印刷の写真が少しボケて話になるかな
と思ったのですけれども、今日、完成品を見まして、字も意外と大きいし、
写真も古い亀鶴橋もきちんと出ていたので、すごくいいのができたなと思っ
ているところです。

ここに書いてある部会における取組みとしては、去年 9 月に両川エリアを
まちづくり部会と事務局の方でここに載っている場所を見まして、堀川さん
からも、畦内さんからもいろいろとご協力いただいて、話を聞いたりしたと
いうことでございます。あと、お寺の住職からいろいろ話を聞いて、やっと
このマップができたということでございます。

今配ってあるマップですけれども、両川小学校、中学校に配布するという
ことですし、もちろん亀田、横越、曾野木と同じように区内の公共施設に置
くということでございます。両川の場合は、両川の全地区にも一応配布する
ということでございます。部会でそれぞれ皆さんの意見を聞いてつくり上げ
てきたものですので、まち歩きなどに利用してもらえればということでござ
います。

紙面の都合もあって、もう少し載せたい部分もあったのですけれども、こ
れは部会でも言ったのですけれども、12月に横越コミュニティ協議会が出し
た佐藤コミュニティ協議会会長の「小阿賀野川でいかだに乗って親から怒ら
れた」とかという話があったのですけれども、それは、ここにある津川から
材木でいかだが小阿賀野川を通過して柴で宿泊して翌日に新潟港まで行った
ということなのですけれども、紙面があればその辺も載せたいなど、横越コ
ミュニティ協議会の会長もおっしゃっていたので載せたいなと思ったのですけ
れども、そのネタは次のまちづくりマップを作るときに載せてもらえればな
と思っているところです。

いずれにしても、委員の皆さんからいろいろご意見をいただいて、事
務局とも 10 回くらい調整してできたものでございますので、いろいろなも
ので活用してもらえればと思っております。私からは、以上です。

○中野会長

ありがとうございました。川湊、栄は重要な川湊のところでそのようなものが少し書かれているような気がしますけれども、もっと詳しいことが分かるということですね。

○田村委員

いかだに乗って怒られたという、昭和 30 年くらいまでは津川からいかだで来ていたそうなのですよ。

○中野会長

そういうエピソードも載せたかったということですね。

○田村委員

年輩の方には、そうだ、そういうこともあったなというような、とっつきやすくなるのではないかと、そういう理由です。

○中野会長

分かりました。ありがとうございました。

では、続いて安心安全部会の石澤部会長、お願いいたします。

○石澤委員

「誰でも安心して安全に暮らせるまちづくりプロジェクト」ということで……。 「区役所だより『こうなん』の防災Q&A」、このコーナーにおきまして、防災に関する質問など、分からないことをQ&A形式で連載いたしました。そういうことで、防災に関する豆知識といえますか、役立ったと思っています。

それから、「パパママ銭湯」を開催いたしまして、これは田舟の里で開催いたしました。大変人気で、すぐ満杯になるというようなことで、やってよかったなという感じがします。申込数は 28 組、キャンセルもありましたけれども、NPO法人ふるさと未来創造堂の中野明子さんの講演も開催いたしまして、盛大に行われました。今年度は、PRの区役所だよりとチラシでしたけれども、参加者の方から、次回も利用したいような声が寄せられてきて、ゆっくりリフレッシュできるということで、非常に効果的だったなと考えております。

防災についても、今後、次年度、これから協議しまして、成功を収めたいと思っております。

○中野会長

ありがとうございました。今の安心安全部会なのですけれども、すみませ

ん。間違えました。次に、環境・教育部会です。渡邊部会長、よろしくお願いします。

○渡邊委員

よろしくお願いします。環境・教育部会では、「世代交流“みらい”プロジェクト」として、「スポGOMI大会」を開催いたしました。11月26日に、江南区役所で開催し、当日は3名から5名で組まれていて20チーム、79名の参加がありました。61.8キログラムのごみを収集いたしました。ごみの種類と重さでポイントを設定し、1、2、3位、ブービー賞の受賞チームに江南区の特産品をプレゼントし、大いに盛り上がりました。

事業効果の評価については、スポGOMI大会は3回目の実施となりましたが、ごみを拾うことで地域の良好な環境づくりに寄与できたほか、燃えるごみ、燃えないごみ、ペットボトル、空き缶、たばこの吸い殻といった種類ごとにごみを分別し拾うことで、どのごみが多いかなど、地域の環境美化を改めて考える機会を提供できました。また、小中学生、親世代、祖父母世代の参加があり、多世代が交流する事業を実施できたと考えております。参加者からは、意外とごみが多くてびっくりしました、楽しくごみ拾いができました、また参加したいです、子どもと参加してごみの分別教区につながるよい機会だったという声をいただきました。私からは、以上です。

○中野会長

ありがとうございました。では次に、「地域課題解決サポートプロジェクト」について、私から報告いたします。

江南区の自治協議会は、区内のコミュニティ協議会を対象に、地域課題の解決やコミュニティの維持、向上につながる取組みを提案してもらい、委託事業として実施しています。今年度は、曾野木地区コミュニティ協議会の「愛と絆そのき光のページェント」、亀田東小学校区コミュニティ協議会の「袋津祭り次世代への伝統文化継承」の2事業が実施されました。

具体的な事業は記載のとおりですけれども、事業評価としては、地域の課題解決やコミュニティの維持、向上が図られました。今回は2コミュニティ協議会だったのですけれども、今後、より多くの地域コミュニティ協議会より活用されるように、引き続き事業の周知を図っていくこととしています。私からは、以上です。

このことについて、ご質問等はございますでしょうか。

4. 報告

(1) 令和5年度第1回江南区自治協議会委員推薦会議について

○中野会長

なければ、次に次第の4「報告」に移ります。はじめに(1)「令和5年度第1回江南区自治協議会委員推薦会議について」、石澤委員からお願いいたします。

○石澤委員

資料4-1をご覧ください。

最初に、事務局から推薦会議の役割についての説明がありました。小見委員の後任者については、規定により座長専決で決定することが報告されました。

次に、座長ですけれども、私が座長に、渡邊委員が副座長ということで決定いたしました。

最後に意見交換を行いまして、区自治協議会の委員構成や来年度の江南区自治協議会推薦会議のスケジュールについて事務局より説明がありました。委員からの主な意見としては、1号委員、いわゆる地域コミュニティ協議会の選出委員は、引き続き各コミュニティ協議会2名の選出が望ましいのではないかという意見が出されました。また、来年度、推薦会議で意見交換を行い、委員構成について検討していく予定であります。

資料4-2をご覧ください。小見委員の後任としまして、16番に記載されていますとおり高橋忍委員が4月より自治協議会委員となりますので、ご報告させていただきます。

委員推薦会議の報告は、以上です。

○中野会長

ありがとうございました。このことについて、ご質問等はございますでしょうか。

(2) 江南区自治協議会各部会の報告について

○中野会長

なければ、続いて各部会からの報告になります。まちづくり部会ですね。田村委員、お願いいたします。

○田村委員

まちづくり部会の先回の内容をお伝えしたいと思います。

審議内容の1番、事業評価については、先ほど資料3で説明したとおりです。それから2番「両川マップ」についても、先ほど資料3で説明させていただいた部分であります。

それから、3の「亀田排水路公園の現地確認」ということで、裏面に資料がございます。見ていただければと思います。亀田排水路公園ですけれども、亀田駅のそばのスーパーウオロクのところから、そこからずっと城山の信越線に交わるところまでの約3キロということで、整備完了から20年近くが経っていて、特に真ん中の亀田の駅前通りと亀田市民会館の前、この排水路公園が約1キロあるのですけれども、その老朽化が特に進んでいるということで、2月29日3時15分から午後4時、夕方で少し寒かったのですけれども、まちづくりの委員皆でその1キロを往復したということでございます。

現状といたしましては、当然、亀田排水路公園の下は排水路ということで、暗渠されて上が公園になっているのですけれども、そのせせらぎの部分は、三つに分かれているのですけれども、多分一番最初に造ったところではなかったかと思えます。そこは「せせらぎ通り」というくらいに、その下にも写真がありますけれども、亀田排水路から水を汲み上げて水を流すという、せせらぎを出すということだったので、さすがに古くなって、水循環システムの不具合で水が出ていないと。また、29日の当日も、当然水は流れていませんから水路はカラカラ、落ち葉が少し溜まっているということでございました。また、昔ながらの手押しポンプ、こうやると水が上がってジャーっと出てくるものが3台くらいあったのでしょうか。あれは、多分、造ったばかりのときはきちんと汲み上げられていたのではないかと思うのですけれども、そういう昔の手押しポンプみたいなものもあったということでございました。

部会としての意見ですけれども、往復1キロ、2キロ歩いた後に皆さんで亀田市民会館の前で話をしたのですけれども、桜の木もたくさんあるし、せせらぎ沿いに句碑なども建っているいるので、非常に環境的、文化的の強みもあっていいのではないかということでございました。現状の水路は、先ほど言ったとおり、水は流れていないし、水溜まりは少しありましたけれども、皆さんの意見として、下に亀田排水路も流れているからせせらぎという部分も造ったということなので、これを埋めて何かやるのではなくて、このせせ

らぎはせせらぎで、水路の部分は埋め立てずに残して、そのほかの活用方法を考えたほうがいいのかということをございました。また、亀田市民会館の前に汲み上げるポンプ、大きい設備があるのですけれども、昔どおりに全部せせらぎに水を流そうとすると多額の費用が見込まれるということで、現状、せせらぎを埋めるとか何かということではなくて、どうしてもここに水を流してもらいたいというニーズが高まったら施設を直したり、全部流さなくても池的な部分、広がっている部分もあるので、そういう部分だけ水を流してもいいのではないかという意見もありましたので、一番下にあるとおり、比較的新しい循環設備があるため、その箇所のみ水を入れてもいいのではないかという意見もあったところです。ずれにしても、せっかく石固めみたいな水路になっているところを埋めたりしないで、とりあえず現状は残すと。そして、比較的新しい設備もある部分は、その箇所だけ入れてやることも有効ではないかという意見が出たところです。

それから、視察としてこのせせらぎ通りを歩いたのですけれども、水路の復活とか別の利用という目的で歩いたのですけれども、実際には歩道をずっと歩いて行くと、木製の橋とかがせせらぎの上に架かっているのですけれども、そういうものが木の橋の部分が流石に 20 年も経っているので少し傷んでいるとか、また案内板の老朽化も見られたということで、区役所にもベビーカーを利用される方から通路を補修してほしい、その木製の橋も含めてということだと思えますけれども、そういう声が届いているということを知っていますので、これからも老若男女、いろいろな方からたくさんこのせせらぎの部分、亀田排水路公園を利用してもらうために、先ほど言いました木橋とか、看板も含めて、全体的な老朽化への対策を考える必要を多く感じたということです。とりあえずせせらぎを残して、木製の橋とか看板の傷んだところをまず直していてもいいのではないかなと思ったところです。私からは、以上です。

○中野会長

ありがとうございました。では、安心安全部会、石澤部会長からお願いします。

○石澤委員

まず、2月9日に開催しました第2回の実施報告を行いました。アンケートでは、前回と同様に、参加者全員が次回以降も参加したいという回答をし

ておりました。

3月8日と3月22日の開催では、NPO法人ふるさと未来創造堂の中野明子さんを講師として迎えまして、「子連れ防災おはなし会」を開催いたしました。部会の委員も可能な範囲で参加することといたしました。私は参加できませんでしたが、また、3月開催のリーフレットを保育園や支援センターなどに設置して、事業の周知を行ったところでございます。報告は、以上です。

○中野会長

ありがとうございました。では、次に環境・教育部会の渡邊部会長、お願いいたします。

○渡邊委員

よろしくお願いいたします。環境・教育部会について、報告いたします。

環境・教育部会は、来年度に実施する「スポGOMI大会」の開催について検討いたしました。開催日程については、「スポGOMI大会」開催団体と調整したところ、当初予定していた日程では開催できないことが判明したため、改めて各日程で調整を図ることにいたしました。開催候補日といたしましては、9月29日の日曜日、10月20日の日曜日といたしました。

次に、自治協提案事業の事業評価について意見交換を行い、事務局案のとおりとすることを承認いたしました。私からは、以上です。

○中野会長

ありがとうございました。では、各部会の報告が終わりましたが、このことでご質問等はございますでしょうか。

なければ、議題、報告については以上となります。全体をとおして何かございますでしょうか。コミュニティ協議会や団体などで予定しているものとか、この場で皆様にお伝えしたいイベントなどがございましたら、ぜひご紹介をお願いします。何かありますでしょうか。丸山委員、お願いします。

○丸山委員

大江山コミュニティ協議会の丸山といいます。

すご堀の桜並木がありまして、ちょうど市の市場ですね、あの辺にありますが、赤道の両脇に3.5キロくらいでしょうか、桜並木があるのです。新潟市の方に聞いてもなかなか認知度が低いようで、へーなどと言う人ばかりなのですけれども、今、これから夜ぼんぼりも点きますので、非常に見ごたえ

があるかと思えます。ただ、今年は桜の開花が少し遅れているようなのですけれども、4月に入ればそろそろ咲くのではないかと思えます。ぜひ見たことがないという人は、1回、夜行くと非常にきれいですので、よろしく願いしたいと思えます。

○田村委員

車はどこに停めるのですか。

○丸山委員

道路がありますから。排水路の脇に道路がありますから。

○田村委員

それほど広い道路ではなかったですね。

○丸山委員

大丈夫です。

○田村委員

大丈夫ですか。

○中野会長

よろしいでしょうか。場所や車、駐車場のことは、また丸山さんに直接お聞きいただいて。ほかにご質問やイベントについて。小野委員、お願いします。

○小野委員

2号委員の小野でございます。

商工会の話ではなくて、消防団の分団長をやっているのです、その宣伝の一つ。今年、コロナが明けまして、消防団というと朝とか夜に訓練をしていて、ポンプの操作法をいかに早く水を出して消すかみたいな競技大会が実はございまして、新潟市ではほとんどの分団が出ていたのですが、それが希望制に変わっているのですけれども、今年は佐渡市で県大会が行われる予定になっていまして、すでに横越分団がポンプ車で出場予定になっていまして、ぜひ応援していただきたいのと、我が両川分団も小型ポンプで2月の予選会に出場して鳥屋野、赤塚分団などと闘って、7分の3の狭きチケットなのですけれども勝ち取って、せっかく頑張った亀田縞の鐘馗図のものを佐渡で……とと思っていますので、ぜひとも消防団の応援もコミュニティ協議会の皆さんにお願いできればと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○中野会長

ありがとうございます。ほかにイベント、その他取組みでご紹介したいようなものがあれば、ぜひこの場でお願いします。よろしいでしょうか。

5. 連絡事項・その他

○渡邊地域総務課長補佐

その他の連絡事項として、報告させていただきます。本日配布しました「新潟市区自治協議会全体委員研修会の開催について」、ご案内でございます。ご案内をご覧ください。

先月の自治協議会で日付と概要をお伝えしましたが、5月10日1時半から東区役所にある東区プラザホールにて全体委員研修会が開催されます。駐車場に台数が限られていることから、江南区役所発着のバスを準備いたします。

おめくりいただき、全体研修の概要についてです。2、研修内容をご覧ください。メインテーマは防災で、事例発表、分科会、全体共有という流れで進めていく予定ですが、分科会は、防災訓練、地域共助、避難行動、避難所運営、復旧時の取組みという五つのテーマで実施します。本日の部会終了までに、同時に配りました全体委員研修会出席確認書で出欠についてご連絡をお願いします。本日の提出が難しい場合は、事務局にその旨ご連絡をお願いします。

続きまして、本日開催いたします自治協議会の委員懇親会についてです。本日、懇親会の費用を部会にて領収書と引き換えに集金いたしますので、事前にご連絡させていただきます。

次に、部会の開催についてです。この後、本会議終了後に部会を開催いたします。まちづくり部会の皆様は入札室へ、環境・教育部会は301会議室へ、安心安全部会の皆様はこの会場でお願いいたします。お手数ですが、移動の際はご自分の名立てをお持ちになって移動をお願いします。

事務局からは、以上でございます。

6. 閉会

○石井副会長

それでは、本日予定されておりました議事は、これで終了となりましたので、閉会といたします。

次回、令和6年度第1回目の自治協議会は、4月25日木曜日、午後1時

30 分からの開催となります。会場は、通常どおり、江南区役所 3 階 302 会議室となります。

なお、地域コミュニティ協議会により選出されている委員の方は、地域課題解決サポートプロジェクトについての説明会を午後 1 時より入札室で開催しますので、ご出席をよろしくお願いいたします。

お疲れさまでした。